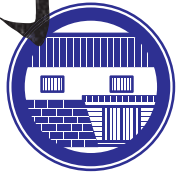


福井城山里口御門

Fukui Castle Yamazatoguchi Gate

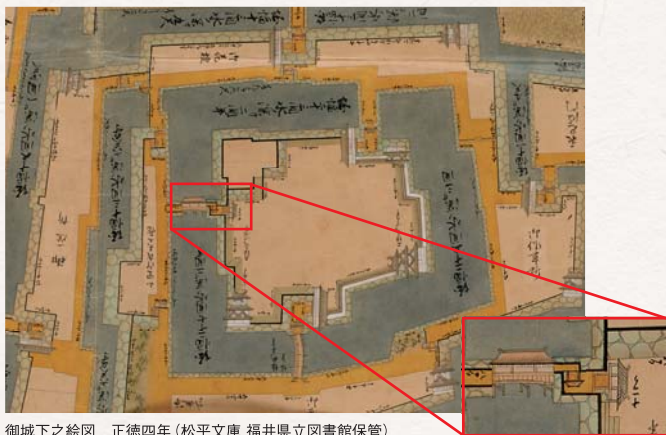


福井県

蘇る 山里口御門

■福井城の歴史

徳川家康の次男結城秀康は、慶長5年（1600）に初代福井藩主となり、翌慶長6年（1601）に越前へ入国しました。同年から6年掛かりで、かつての北庄城の大修築を行い、慶長11年（1606）に福井城が完成しました。大修築後の福井城は、最



御城下之絵図 正徳四年（松平文庫 福井県立図書館保管）

大幅が100mにも及ぶ百間堀をはじめ、四重、五重の堀に囲まれた広大な城で、高さが約30m、四層五階の天守がそびえていました。

しかし、寛文9年（1669）に発生した大火により、天守は多くの櫓や城門とともに焼失してしまい、その後天守が再建されることはありませんでした。代わりに、それまで二重櫓だった異櫓および坤櫓を三重櫓として再建し、天守の代用としました。

幕末まで福井藩越前松平家の居城であった福井城でしたが、明治以降に櫓や堀などが順次取り壊され、外堀も埋め立てられました。

■山里口御門

山里口御門は、福井城本丸の西側を守る門として築城当初からあり、「廊下橋御門」や「天守台下門」とも呼ばれていました。寛文9年の大火時に焼失してしまいましたが、その後再建されました。

松平春嶽などの藩主の住居であった御座所が西三ノ丸（現在の福井市中央公園付近）にあった時代には、藩主は御座所から御廊下橋を渡り、山里口御門を通じて、本丸へ向かったと考えられています。

■櫓門・棟門

櫓門は、高石垣に挟まれた場所であり、棟門とともに本丸西側の防衛を担っていました。門の上に櫓を設けた構えをしており、櫓の内部は当時、武器庫などに使用されていました。

屋根瓦には、足羽山（福井市）で採掘さ



櫓門

れていた笏谷石の瓦で葺き、門扉や門を支える柱などには檜材を用いています。櫓門の外壁は、五層（下地から順に、荒壁、斑直し、中塗り、砂漆喰、白漆喰）かなる漆喰壁となっています。

櫓門の壁板や床板には檜材、梁には手斧仕上げの松の丸太材を用いており、木材全体の約6割に県産材を使用しています。



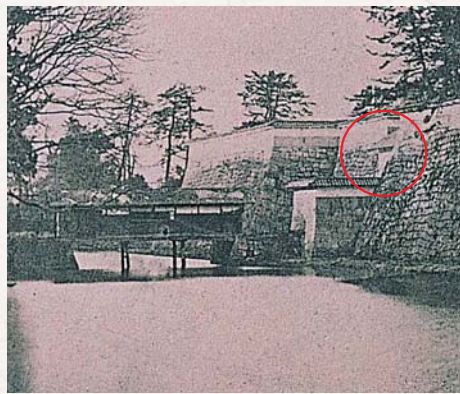
柵形からみた棟門と櫓門





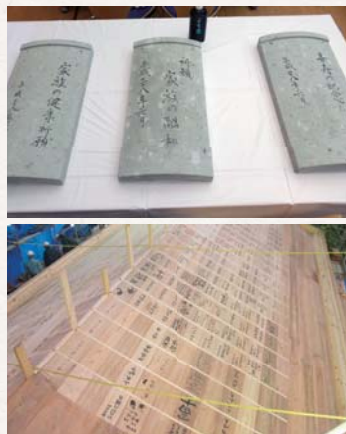
上空から望む山里口御門

山里口御門は、構造と向きの異なる2つの門（櫓門、棟門）と周囲の石垣によって方形の空間（枳形）が形成され、防御力の高い枳形門の構えとなっています。



旧福井城本丸御廊下橋之遠望
(福井市春嶽公記念文庫 福井市立郷土歴史博物館蔵)

旧福井城本丸御廊下橋之遠望
この古写真は、明治初期に撮影されたものです。山里口御門が写っている唯一の写真で、御廊下橋を渡ったところに櫓門の屋



山里口御門復元整備募金
山里口御門の復元に際して、寄付を募ったところ、県内外の五〇〇名を超える方々から多大なご寄付をいただきました。これらの寄付金は、復元工事に活用させていただいたとともに、「瓦・壁板記名募金」でお名前やメッセージ等を記名しています。

土塀
土塀は、櫓門や棟門とともに枳形を構成する石垣上にあり、外部からの攻撃に備えています。土塀の外側には、腰下に笏谷石の板石を張り、鉄砲狭間が設けられています。厚い土塀は、内部に砂利が込められた強固な構造となっています。



御門周辺の石垣
山里口御門の復元に先立ち、櫓門が接する石垣のはらみや破損を修復するため、石垣の解体と積み直しを行いました。損傷などにより再利用できなかった石は、笏谷石と風合いの近い竜山石（兵庫県高砂市産で置き換えています。積み直し後の石垣の表面には、櫓門の柱が埋め込まれていた跡を見て取ることができます。



復元にあたって
御門の復元にあたっては、史実を尊重した復元を行うため、現存する古写真や古絵図などの史料の調査をはじめ、現地の石垣に残された部材の痕跡調査、御門付近の発掘調査を行い、御門の規模や構造などを明らかにしてきました。発掘調査では、土塀の腰板石が初めて確認されたほか、屋根瓦などの出土遺物が多数見つかりました。これらから部材の大きさや表面の仕上げ加工などを参考にしています。

出土した腰板石破片



笏谷石を用いた復元
屋根瓦や土塀の腰板、礎石、石垣裾部の排水溝の材料には、笏谷石を用いています。屋根を石瓦で葺いていることや土塀の腰板に石材を用いていることは、福井城の大きな特徴でもあります。

根と壁の一部が見て取れます。この写真から、屋根の形式が切妻造りであることがわかるとともに、屋根の出幅を決める際の貴重な資料となりました。そのほか、枳形土塀の屋根が瓦葺きであることや腰板に石が張られていることもわかります。

福井城址案内図



山里口御門案内図



〔交通のご案内〕

- 鉄道／JR「福井駅」下車、徒歩約7分
- 福井鉄道「福井城址大名町」停留所下車、徒歩約5分
- 福井鉄道「福井駅」下車、徒歩約7分
- えちぜん鉄道「福井駅」下車、徒歩約7分
- バス／京福バス「福井駅」下車、徒歩約7分
- コミュニティバスすまいる「福井駅」下車、徒歩約7分
- 自動車／北陸自動車道「福井IC」より約15分

〔開館情報〕

- 開館時間／午前7時から午後6時まで
(ただし荒天時は臨時に休館することがあります)
- 入館料／無料
- 駐車場／なし
- ※門は終日開放
(ただし積雪や凍結等の気象状況により通行を制限することがあります)



天守台跡と福の井(井戸)

〔お問い合わせ〕 福井県総合政策部交通まちづくり課 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
 TEL.0776-20-0724 FAX.0776-20-0729 E-mail.kotsuka@pref.fukui.lg.jp
 URL.http://www.pref.fukui.jp/doc/sokou/kennto/yamazato.html